

| 科目名 | | 単位数 | 担当教員 | 区分 |
|--|-----------------------------|-----|-------|--------|
| 平成26年度以降 | 西洋史概説 | 2 | 浅野 和生 | |
| 平成25年度以前 | 西洋史概説 I | 2 | | |
| 教職 | 教員の免許状取得のための必修科目 | | | 教職 |
| | 教科に関する科目(中学校(社会)): 日本史及び外国史 | | | |
| 授業の到達目標及びテーマ 今日のヨーロッパ世界の成立と、議会制民主主義の形成過程を理解することが目的です。特に、西洋史におけるキリスト教の伝播と宗教改革の影響、そして歴史的事象と政治思想との関係についても学びます。つまり、今日の世界を規定している歴史上の主要な事項について基本的な理解を得られるようにすることが本講義のテーマです。 | | | | 言語 |
| 授業の概要 EUの基礎にはローマ帝国とキリスト教があると言われています。つまり、今日のヨーロッパ世界の枠組みは、ローマ帝国の成立とその東西分裂が基にあり、キリスト教の伝播と二つのキリスト教世界の成立によって形作られています。その後、宗教改革と、イギリスの2つの革命、アメリカとフランスの革命を経て、議会制民主主義が確立されていきます。また、これらの革命は政治思想の展開を伴っています。そして、今日の世界を規定しているのは、二つの世界大戦と冷戦です。以上の、西洋史の基本となる事項について、順次講義していきます。 | | | | 共通 |
| 授業計画 第1回: 授業の概要; 中学校社会科教育における世界史と西洋史 第2回: オリентと地中海世界 第3回: 古代ギリシャとアテネの盛衰 第4回: ローマ帝国の拡大とキリスト教 第5回: 西ローマ帝国と東ローマ帝国 第6回: ウィリアム一世のイングランド統一とアンジュー帝国 第7回: マグナ・カルタから模範議会まで 第8回: 宗教改革の諸相: ルター、カルヴァンとヘンリー八世 第9回: スペインとイギリスの抗争 第10回: 清教徒革命と名誉革命 第11回: アメリカ独立革命とフランス革命 第12回: ウィーン体制とヨーロッパの再編 第13回: 第一次世界大戦とアメリカの台頭 第14回: 第二次世界大戦と国際連合の成立 第15回: 冷戦と第三世界の自立 【履修上の注意事項】 授業は毎回出席をとります。講義のノートをしっかりとる努力をしてください。また、大学生らしい受講態度を期待しています。 | | | | 専門基礎 |
| テキスト 初回講義で指示する | | | | 法律一般 |
| 参考書・参考資料等 服部良久、山辺規子、南川高志『大学で学ぶ西洋史—古代・中世』(ミネルヴァ書房 2940円) 小山哲、山田史郎、杉本淑彦、上垣豊『大学で学ぶ西洋史・近現代』(ミネルヴァ書房 2940円) | | | | 政治行政 |
| 学生に対する評価 期末試験の結果と平常点によって評価します。また、任意提出のレポート課題を2回提示します。 | | | | 経営法務 |
| | | | | スポーツ福祉 |
| | | | | 演習 |
| | | | | 25年度以前 |
| | | | | 共通科目 |